

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 大
 コード番号 3600 URL <http://www.fjx.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)山本 和良 TEL 075(463)8111
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,138	△0.6	16	—	22	59.0	△40	—
24年3月期第2四半期	3,157	5.5	△7	—	14	△23.9	61	△77.8

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △18百万円(—%) 24年3月期第2四半期 115百万円(△14.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△5.94	—
24年3月期第2四半期	8.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,954	8,247	79.1
24年3月期	9,952	8,359	80.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 7,871百万円 24年3月期 8,012百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50
25年3月期	—	0.00			
25年3月期(予想)			—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,288	△0.1	52	—	61	303.7	51	—	7.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名)一、除外 一社(社名)一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	7,340,465株	24年3月期	7,340,465株
25年3月期2Q	448,837株	24年3月期	448,077株
25年3月期2Q	6,892,052株	24年3月期2Q	6,893,566株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(4) セグメント情報等	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景とした回復傾向が見られるものの、欧州債務問題などによる海外景気の下振れ懸念や、長引く円高傾向等により、引き続き先行きの不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く環境も、消費者の節約志向や長引いた残暑の影響などから衣料品の売れ行きもまだら模様で、衣料品の生産は全般的に慎重であり、また手作りホビー関連分野においても商況が低調になるなど、縫い糸の受注は特に国内市場において厳しい状況が続きました。

当社グループは、国内外市場において、引き続き中長期を見据えた諸課題に全力で取り組んでおり、一部にはその成果も現れつつありますが、国内市場での苦戦もあって、当第2四半期連結累計期間の売上高は、3,138百万円（前年同期比0.6%減）となりました。

また、利益面につきましては、平成20年末に実施した国内工場の移転統合により増加した償却費負担も徐々に軽減されつつあるなど増益要因もあるものの、国内売上高の回復遅れや本社ビルの修繕工事の実施、アジア事業での減益等もあって、営業利益は16百万円（前年同期は7百万円の損失）、経常利益は22百万円（前年同期比59.0%増）にとどまりました。四半期純利益につきましては、前年同期に計上した中国子会社移転に伴う受取補償金、資産除去債務戻入額、移転損失などの特別損益の発生はなく、法人税等合計が36百万円となり、これらの結果、四半期純損失は40百万円（前年同期は61百万円の利益）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントごとの業績は次の通りです。

日本

上述の通り、東日本大震災の復興需要も一部には見られるものの、先行きの不透明感が払拭されず、消費者の節約志向も依然として根強いことや、長引いた残暑の影響等もあって、衣料品の売れ行きはまだら模様であり、これに伴って衣料品の生産は慎重で、特に国内縫製業は厳しい状況が続きました。また、手芸など手作りホビー分野も特に夏場を中心に低調に推移しました。

当社グループは、国内シェアの拡大や、手作りホビー需要の掘り起こしなど、国内事業における中長期の課題に地道に取り組んでおり、一部にはその成果も現れつつありますが、特に衣料用縫い糸の受注低迷が響き、当セグメントの売上高は、2,546百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

一方利益面は、平成20年末に実施した国内工場の移転統合に伴う償却費負担も徐々に減少傾向にあるほか、人件費を含む経費の減少など増益要因もありますが、先行経費負担に対して売上高の回復が遅れていることや、本社ビルの修繕工事の実施等もあって、セグメント損失は、89百万円（前年同期は87百万円の損失）となりました。

なお、当社グループにおいては、事業年度の末日を、当社は3月末日、国内子会社は1月末日と定めており、当第2四半期連結累計期間には、当社の平成24年4月から9月まで、国内子会社は平成24年2月から7月までの業績が連結されております。

アジア

経済成長を続ける中国における急速な賃金上昇や雇用環境の変化により、縫製業においては賃金が安価で縫製人員の確保し易い新興アジア諸国へのシフトが進行しており、日本向けを含め、低価格や量産型の衣料品を中心に生産の分散化傾向が進みつつあります。これに伴い、同国の縫製受注が一部減少傾向にあり、中国連結子会社における縫い糸受注も小口化が進むなど、中国事業を取り巻く環境は厳しくなりつつありますが、信頼される品質やきめ細かなサービスを掲げた販売努力により、当期間の売上高は、591百万円（前年同期比6.4%増）と増収を維持いたしました。

しかしながら、利益面につきましては、中国生産子会社では引き続き高い操業度は維持しているものの、人件費などの経費が増加していることや、5月に設立が認可されたベトナム・ホーチミンの販売子会社における先行経費負担もあり、セグメント利益は、89百万円（前年同期比12.7%減）と減益となりました。

なお当社グループの海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第2四半期連結累計期間には、平成24年1月から6月までの業績が連結されております。

また、昨年、タイ国 サハグループとの合弁で設立した販売子会社フジックスインターナショナルは、営業活動を開始しておりますが、同社は持分法適用会社につき、同社の純損益のうち当社持分相当額は営業外費用の持分法による投資損失として計上されているため、セグメントの売上高およびセグメント利益に影響はありません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて2百万円増加し、9,954百万円となりました。主な増減は、流動資産では、現金及び預金の減少188百万円、売掛金の増加14百万円、たな卸資産の増加86百万円、固定資産では、有形固定資産の増加126百万円、投資その他の資産の減少47百万円などがありました。

負債は、前連結会計年度末に比べて114百万円増加し、1,706百万円となりました。主な増減は、買掛金の増加32百万円、未払金の増加92百万円などがありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて112百万円減少し、8,247百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の減少131百万円、その他有価証券評価差額金の減少33百万円、為替換算調整勘定の増加24百万円、少数株主持分の増加28百万円などがありました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期連結業績につきましては、国内景気の先行きの不透明な状況が当面続き、個人消費の動向は不透明で、衣料品の生産も急速な回復が期待できない状況に加え、最近の日中関係の悪化により、日本製品の不買運動や反日行動など、今後、当社グループの中国事業にも様々な影響が及ぶ可能性も踏まえ、平成24年11月9日に「業績予想の修正」として開示した通りであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,825,455	2,637,028
受取手形及び売掛金	1,498,350	1,519,272
たな卸資産	2,688,850	2,775,737
その他	105,197	112,806
貸倒引当金	△27,900	△27,788
流動資産合計	7,089,953	7,017,056
固定資産		
有形固定資産	1,361,272	1,487,553
無形固定資産		
その他	196,395	192,516
無形固定資産合計	196,395	192,516
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,308,806	1,262,678
貸倒引当金	△3,821	△5,110
投資その他の資産合計	1,304,985	1,257,567
固定資産合計	2,862,652	2,937,637
資産合計	9,952,605	9,954,694
負債の部		
流動負債		
買掛金	526,448	558,509
未払法人税等	42,964	35,736
賞与引当金	69,434	66,884
移転損失引当金	12,084	96,119
その他	297,024	384,716
流動負債合計	947,955	1,141,967
固定負債		
長期借入金	52,528	53,568
退職給付引当金	75,592	79,710
役員退職慰労引当金	166,078	164,546
移転損失引当金	83,986	—
資産除去債務	16,929	16,944
その他	249,702	250,256
固定負債合計	644,816	565,026
負債合計	1,592,772	1,706,993

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	758,014	758,014
利益剰余金	6,399,123	6,267,296
自己株式	△106,042	△106,260
株主資本合計	7,974,420	7,842,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	125,201	91,945
為替換算調整勘定	△87,298	△62,573
その他の包括利益累計額合計	37,903	29,372
少数株主持分	347,509	375,953
純資産合計	8,359,833	8,247,700
負債純資産合計	9,952,605	9,954,694

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,157,205	3,138,123
売上原価	2,254,100	2,204,475
売上総利益	903,105	933,648
販売費及び一般管理費	910,455	917,376
営業利益又は営業損失(△)	△7,350	16,272
営業外収益		
受取利息	4,244	3,263
受取配当金	8,773	8,633
受取奨励金	9,125	7,818
その他	12,319	10,431
営業外収益合計	34,463	30,146
営業外費用		
支払利息	2,026	2,037
為替差損	3,043	5,393
有価証券評価損	4,455	4,792
持分法による投資損失	—	9,073
その他	3,136	2,151
営業外費用合計	12,661	23,448
経常利益	14,450	22,970
特別利益		
受取補償金	250,200	—
資産除去債務戻入額	99,612	—
その他	106	—
特別利益合計	349,918	—
特別損失		
移転損失	85,212	5,255
その他	2,238	0
特別損失合計	87,451	5,255
税金等調整前四半期純利益	276,917	17,715
法人税、住民税及び事業税	124,297	16,639
法人税等調整額	14,539	19,906
法人税等合計	138,837	36,546
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	138,080	△18,831
少数株主利益	76,902	22,085
四半期純利益又は四半期純損失(△)	61,177	△40,916

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	138,080	△18,831
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,421	△33,256
為替換算調整勘定	10,851	32,825
持分法適用会社に対する持分相当額	—	514
その他の包括利益合計	△22,569	83
四半期包括利益	115,510	△18,747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,515	△49,447
少数株主に係る四半期包括利益	78,995	30,700

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,601,571	555,634	3,157,205	—	3,157,205
セグメント間の内部 売上高又は振替高	189,582	244,937	434,520	△434,520	—
計	2,791,153	800,571	3,591,725	△434,520	3,157,205
セグメント利益又は損失 (△)	△87,851	102,196	14,345	△21,695	△7,350

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△21,695千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,546,743	591,380	3,138,123	—	3,138,123
セグメント間の内部 売上高又は振替高	185,928	242,033	427,962	△427,962	—
計	2,732,672	833,413	3,566,085	△427,962	3,138,123
セグメント利益又は損失 (△)	△89,857	89,257	△600	16,872	16,272

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額16,872千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、新たにベトナムに連結子会社を設立したことに伴い、当社グループの生産・販売体制を基礎とした地域別の報告セグメントの区分方法を見直し、従来の「日本」「中国」から「日本」「アジア」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第2四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。